

さはらじょうあといせき
さはらじょうあと

佐原城跡遺跡

佐原城跡

(横須賀市No.90・91 遺跡)

調査期間 20070718～20070831

所在地 横須賀市
佐原三丁目地内

時代 弥生
古墳
中近世以降



更新日:20071003

概要

今回の調査は、東日本高速道路株式会社による、横浜横須賀道路建設(佐原一馬堀海岸間の延伸)事業に伴う事前の調査です。同事業による調査は平成13年度から14年度にかけても行われましたが、今回はその調査区に隣接する200㎡が対象となりました。

遺跡は三浦半島最大河川である ^{ひらさくがわ}平作川や、その支流である矢部川・岩戸川が作り出した低地を望む台地上に立地し、古くから半島一帯を治めていた三浦氏一族の一派である ^{さはらじゅうろうよしつら}佐原十郎義連の居城があった地とされてきました。

前回の調査では、中近世に造られた段切り(斜面地に平坦面や防御施設としての崖面を作り出すための造成痕)が発見されたほか、弥生時代中頃(宮ノ台期)には、集落が広がっていたことが確認されました。

今回の調査では、弥生時代の遺構は前回発見されていた遺構の続きが確認されたのみとなりました。中近世以降の遺構としては、前回見つかった段切り・溝の延長部が確認された

ほか、新たに溝や土坑、畑の跡となる ^{うねじょういこう}畝状遺構が発見されました。



▲K1号段切り



▲調査区全景

今回の発掘調査による成果は、平成 20 年度に予定されている出土遺物等の整理作業を通じて、佐原氏との関連性や各時代の土地利用の実態などを検討し、報告書として公表されます。



▲佐原城碑